

国際ロータリー 第 2770 地区

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA MID-TOWN

Weekly Report



例会日 毎週火曜日 12:30~1:30
 例会場 山下工務店 大袋 GL2 階
 事務局 〒343-0034 越谷市大竹686-3
 TEL 048-971-5320
 FAX 048-971-5370
 創立 平成2年5月22日

会長 山崎 晶弘
 幹事 小池 和義
 会報委員長 森 紀二

第 1072 例会会報

- ・例会月日 平成24年10月30日(火)
- ・例会場名 正八寿司
- ・司会者名 太田洋寿 SAA
- ・発行月日 平成24年11月6日(火)
- ・点鐘時間 6時
- ・斉唱RCソング 割愛

次月・次週インフォメーション

- 11/6 通常例会
- 1/13 通常例会
- 1/17・18(土・日) 地区大会

会長挨拶

山崎晶弘会長



皆さん、こんばんは。今年度になって初めての夜間例会です。どうぞよろしくお願い致します。11月を前に気温が下がり始めました。寒さに向かう折、風邪の時季でもありますのでくれぐれもご留意ください。

昨日から今日にかけて業界団体の会合で新潟へ行き、その帰りにこちらへ直行しました。このような格好で失礼します。また、日曜日は家内と一緒に会津若松を訪ねましたが、気温が高めだったためか例年に比べますと紅葉も見劣りするよう感じられました。

皆様には健康管理に努めていただきまして、週に一度の例会でまた元気に集いたいと思います。

米山功労賞贈呈



《武藤会員に米山功労賞が贈られました》

幹事報告

小池和義幹事

1. 地区より「地区大会開催の案内」が再送されています。開催日は11月17・18日(土・日)2日間、田中ガバナーからも出席の要請がありましたので、皆様にはスケジュールを調整の上出席のほどよろしくお願い致します。集合場所等詳細については後日ご案内致します。
2. 県立越谷特別支援学校より「第36回文化祭(越陽祭)開催の案内」がきています。
日 時: 11月22日(木)・24日(土)
am10:00~pm1:50
場 所: 県立越谷特別支援学校<作品展示・学習発表>
3. チャリティーコンサート実行委員会より「チャリティーコンサートの案内“第11回スペース悠悠チャリティーコンサート 2012 吉田正記念オーケストラを聴きに行こう”の案内」がきています。
日 時: 11月25日(日) pm1:00 開演
場 所: 県立春日部高等学校音楽ホール
4. 地区より「第4420地区ブラジル・サンパウロ・アエロポルト RCよりプロジェクト支援要請の件」に関する書類が寄せられています。

概 略: Dr.カルミーノ・カリーシオ市立病院火傷治療センターでの火傷治療器具(エレクトリック・デルマトーム・コンプリートキット)設置について支援要請が当地区に寄せられました。第4420地区はパイロット



地区で、このプロジェクトはグローバル補助金を使用するプロジェクトです。総額\$40,150の予算ですが、当地区・クラブへの要請は\$10,000、各クラブへの資金提供のお願いは\$1,000、残金は地区負担(DDF使用)。クラブ単独、又は数クラブ合同でのプロジェクトは問いませんので是非協力をお願いしたいとのことです。
 <締切日: 11/20、連絡先: 和井田補助金委員長>

委員会報告

■文教大学留学生への国際食文化交流会詳細説明と協力依頼 山崎晶弘会長

国際食文化交流会（来年 1 月末）は、皆様もご承知の通り今年度から実行委員会を設けて準備を進めることになりました。25 日に文教大学を訪問し、三枝先生を通して集まっていた文教大学留学生の皆さんに趣旨説明や当日の対応スケジュール、近藤先生の申し送りにありました参加申込書（氏名・学部・国籍・調理名・余興記載）等についてお話をしました。また本日、文教大学留学生を例会に招くに当たって三枝先生から問い合わせのメールが寄せられていますので小池幹事からお伝え致します。



三枝先生（文教大学）からの確認点：

1. 1 回の例会で 2~3 名との話ですが、4 名参加しても差し支えないか。〈4 名の訪問を了承〉
2. 参加できる学生が皆、午前中に授業があるため 12 時 10 分に授業が終了する。訪問は 12 時 15 分~1 時 30 分の時間帯で構わないか。
〈会員が車で送迎することで了承〉
3. 参加できる例会は 11/6、13、20、27、12/11 の 5 回で良いか。
〈11/20 は地区大会へ振替、12/11 は年次総会のため 12/4、18 を含め協議の上で最終的な日程を伝える〉
4. クリスマス例会の参加学生は 10 名位でも構わないか。
〈招待者 10 名迄で承認〉

今年度は午前・午後とも必須授業が入っている留学生が多いため人が集まり難い状況ですが、遅くとも明日には例会参加者をお知らせします、とのことです。

— 協議事項 —

■ロータリー財団・米山寄付について

大野 弘ロータリー財団・米山記念奨学・新世代委員長 過日のガバナー公式訪問例会で、田中ガバナーから“財団・米山への寄付は柔軟な対応をしてください。但し、全員参加をお願いします”とのご指導をいただきました。今年度はポリオ分だけでも全会員からご協力をいただくような形で寄付を募りたいと考えていますのでよろしくお願い致します。

〈協議の結果、財団寄付金 1 人 2,000 円で承認〉

委員会報告

■社会奉仕委員会

菊地貴光委員長

好天のもとで行われた第 38 回越谷市民まつり（10/21）は皆様のご協力により無事終了しました。100 枚用意した色紙のうち 95 枚（9,500 円）を販売、余ったものはお預かりしていますので欲しい方にお譲り致します。イベント業者さんに

よると、今年はどの会場も販売が鈍く財布の紐が固いとのことでした。来年は色紙販売にも協力をしたいと思います。ご協力ありがとうございました。

■県立越谷特別支援学校を支援する会について報告

菊地貴光社会奉仕委員長

当クラブでは越谷特別支援学校を支援する会の特別会員として毎年、賛助金（10,000 円）を納めてきました。埼玉県教育委員会の方針で、支援する会（通常他の学校では教育振興会）

が、県の学校に対して市、町、村が出すのはいかがなものかと県議会で問題になり、また自治体（実際に自治体から 1 人 3,000 円出ている）でも県の学校になぜ出さなければならないのかという意見が出ています。こういった状況を受けて支援する会は解散することになりました。今までの賛助金（残金約 160 万円）については例年通りいくつかの事業に充て、残ったお金は最終的に PTA の会費の中に入れることで理事会の承認を得ました。各団体への最終的な会計報告は改めて行うとのこと。越谷特別支援学校だけがロータリークラブやライオンズクラブといった団体の協力があるわけですが、協力してくれる団体があれば何らかの形で会を作っていきたいという意向はあるようですので、会が出来たときに改めて協議をしたいと考えています。



■出席報告

大野 弘委員長

会員数	出免除	出席数	欠席数	MU	出席率
14 名	1 名	9 名	2 名	2 名	84.61%

「ロータリーの友」10 月号より一部抜粋

一今も輝くシェルドンの職業奉仕理念、シェルドンとの共通性—
「顧客満足」「顧客ロイヤルティ」「カスタマーディライト」「CSR」の向上が利益の源泉となる、という考え方は、「最もお客様の満足を得たものが、最も多く報われる」という言葉に変換できます。これは、はるか 100 年前、シェルドンが 1911 年第 2 回全米ロータリークラブ連合会で唱えたメッセージ「継続的な利益をもたらす顧客の確保が企業の継続的な発展を実現させる」と共通すると思うのは、私だけではありません。

強調したいのは、ロータリーの職業奉仕はシェルドンによって 100 年前にでき上がった理念でありながら、今日の企業活動理念と根底の部分が全く同じであるということです。「He Profits Most Who Serves Best」(2010 年規定審議会で He が One に変更になりました)は、現代の顧客満足度、顧客ロイヤルティなどによる経営手法の偉大な祖先であった、と私は思います。むしろ、ロータリーの職業奉仕は、現代で陳腐化しているところか、現代がやっとロータリーの職業奉仕理念に追いついてきたと言えます。最先端の道を 100 年以上にわたって歩んできた職業奉仕理念を実践する唯一の団体がロータリークラブなのです。